

サッカーをしたい高校生に新しい活動の場を提供するため、昨年発足した地域クラブ「JOGANJI富山U18」と雄山高校サッカー部による合同チームが、活動2年目をスタートさせた。4月に7人が新たに加入し、1〜3年生の計15人で高校世代の県リーグ「T2」（北日本新聞社共催）昇格を目指して練習に励む。

合同チームは、2023年度に県内2チーム目の高校生クラブチームとして誕生。一般社団法人「常願寺川公園スポーツクラブ」が運営する舟橋村東芦原の高平メモリアル常願寺スポーツパークを拠点に活動する。

サッカーに限らず団体競技は部員不足で活動が制限されるケースがあり、通学する高校に問わず活動できるようにするのが狙い。クラブハウス併設の人工芝グラウンドに加え、名門高校でも指導したコーチや社会人

サッカー少年の受け皿に

地域クラブと雄山高 合同チーム



チームの現役選手らによる指導体制を整える。
主将の稲村瑠さん（いさむら る）は入善町在

住で新川高校の3年生。「いろんな高校の生徒がいて刺激になる。チームの成長を目指してサ

ッカーを楽しんでいる」と語る。部員不足にあえいでいた近くの雄山高校サッカー部の生徒も

7人加入 2年目始動

多く、同校から10人が所属する。同部マネジャーの女子生徒も練習を支える。

4月に新加入した同校の瀬山侑和（ゆわ）さんは、高校がある立山町と隣接する富山市藤ノ木地区在住。「部員が少なく大会に出られない。通学しやすい高校でもサッカーをできる選択肢や環境があつて良かった」と話す。チームは全国高校サッカー選手権、県大会に出場できないが、プレーできる喜びが大きく、不満を抱く生徒はいないという。

（柵高浩）

活動2年目を開始した合同チーム。県リーグ「T2」昇格を目指す「高平メモリアル常願寺スポーツパーク